

年収約462万円の
家計に例えると…

5万人の台所事情

亀山家(市)の家計簿

令和6年度の実際の一般会計決算を1/5000にして、約462万円の家計に例えてみました。

市にはさまざまな種類の収入と支出があり、一般の家庭とは少し違った内容になっていますが、亀山家(市)の年間の家計簿をつくってみると…

収入

令和5年度からの
増減

現金収入 421万円 (+8万円)

給料(基本給)

▶ 市税、分担金および負担金 208万円 (-5万円)

給料(諸手当)

▶ 地方交付税、譲与税・交付金等 98万円 (+7万円)

パート収入

▶ 諸収入、使用料・手数料 13万円 (-1万円)

親からの援助

▶ 国庫支出金、県支出金 102万円 (+7万円)

ローン(借入金)

▶ 市債 18万円 (+10万円)

貯金の取り崩し

▶ 繰入金 16万円 (-1万円)

繰越金

▶ 繰越金 7万円 (-2万円)

収入合計 462万円 (+15万円)

貯金額 135万円 (-5万円)

支出

令和5年度からの
増減

生活費用 348万円 (+14万円)

食費

▶ 人件費 84万円 (+4万円)

医療費

▶ 扶助費 85万円 (+6万円)

光熱水費などの雑費

▶ 物件費、補助費等 117万円 (+3万円)

車などの修理代

▶ 維持修繕費 13万円 (-1万円)

教育費

49万円 (+2万円)

子どもへの仕送り

▶ 繰出金 33万円 (+2万円)

ローンの返済

▶ 公債費 37万円 (-2万円)

家や庭の建築・改修

▶ 普通建設事業費、災害復旧事業費 24万円 (+4万円)

貸付など

▶ 貸付金、投資および出資金 6万円 (-1万円)

貯金など

▶ 積立金、予備費 4万円 (+1万円)

支出合計 452万円 (+18万円)

余り 10万円 (-3万円)

ローン残高 269万円 (-19万円)

令和6年度の家計は…

収入は、給料のうち基本給は減りましたが、諸手当は増えました。また、親からの援助のほかローン(借入金)が増えました。そのほか、パート収入や貯金の取り崩し、繰越金はほぼ横ばいで、収入合計は昨年度から増えました。

支出は、食費や医療費のほか光熱水費などの雑費、教育費、家や庭の建築、老朽化に伴う改修にかかる支出などが増えたため、昨年度から増えました。

令和7年度は、貯金が減っていることもあり、引き続き節電や節水に努めるほか、その他の出費についても無駄をなくし、ローンの借り入れや貯金の取り崩しを最小限にとどめるなど家計の見直しを行い、安定化を図っていきます。

※計数ごとに四捨五入しているため、合計が一致しないことがあります。



令和6年度つうしんば
わかりやすい決算書

発行: 亀山市 編集: 政策部 広報秘書課 広報グループ

〒519-0195 三重県亀山市本丸町577番地 TEL 0595-82-1111(代) FAX 0595-82-9955 ホームページ <https://www.city.kameyama.mie.jp>

広報亀山は、古紙パルプ配合率60%、白色度80%の再生紙および植物油インキを使用しています。

